

事務事業評価(事前評価)シート【平成30年度】

主管課(担当名)	消防本部(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防庁舎整備事業	事業番号	12473

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	消防吏員採用に伴い、女性専用の仮眠室、トイレ、浴室等の施設を整備することで、女性が活躍できる環境を整えとともに、老朽化した本庁舎の外壁改修及び屋上防水を行い、良好な状態に維持管理する。
成果	女性消防吏員が働く環境を充実させることができる。 大雨や大雪時の雨漏り及び震災時の外壁崩落を防止して、既存庁舎の延命化を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	28	女性用施設の増築、備品整備及び消防庁舎の屋上防水・外壁修繕						
	29							
	30							
	31							
	32							
事業費と内訳	(単位:千円)		H28	H29	H30	H31	H32	総事業費
	事業費				59,462			59,462
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債			28,500			28,500
		その他			28,200			28,200
		一般財源			2,762			2,762
	人員(人工)				0.08			0.08
	職員費(人員×7,679千円)				614			614
総事業費				60,076			60,076	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	女性消防吏員数	0人	2人	4人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	女性職員専用施設の整備により、女性が安心して働ける環境を整えることで、女性職員採用の促進が期待できる。さらに女性が増えることで、子供や高齢者、災害時の要支援者など、様々な状況にある多様な住民への対応力が向上し、住民サービスの向上が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 職員の多様化が進み、住民サービスの向上につながる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 主に消防職員が使用する施設のため、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 女性職員を採用していくにあたり、専用施設の整備は急務である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 女性職員採用にあたり、専用の仮眠室、トイレ、浴室等の施設を整備することは適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 女性職員専用の施設を整備することで、女性採用の拡大が図られ公平性が保たれる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 今後、女性職員が増加した場合、新施設で対応できるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業実施を図るとともに、住民サービスの向上、女性消防吏員の活躍推進に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 事業を計画通り進め、女性消防吏員が最大限に活躍できるよう環境を整備し、住民サービスの向上につなげたい。

作成年月 平成30年6月

事務事業評価(事前評価)シート【平成30年度】

主管課(担当名)	消防本部(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防救急デジタル無線設備機器更新事業	事業番号	12712

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	市民が安全・安心して生活できる環境を作るため、消防施設を整備し、複雑多様化する災害に対応する体制の強化を図る。
成果	複雑多様化する各種災害に対応する体制強化。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	28	<div style="position: relative; height: 100px;"> </div>						
	29							
	30							
	31							
	32							
32								
事業費と内訳	(単位:千円)		H28	H29	H30	H31	H32	総事業費
	事業費				11,188			11,188
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			11,188			11,188
	人員(人工)				0.08			0.08
職員費(人員×7,679千円)				614			614	
総事業費				11,802			11,802	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	更新設備数	1設備	1設備	1設備

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	消防救急デジタル無線設備を計画的に更新し、安定した無線運用を行うことにより、市民の信頼性を確保する。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民の生命、身体、財産を火災及び災害から保護するために必要。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が消防責任を有することに基づく。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 経年劣化による故障等を防ぐために更新は不可欠である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 消防救急デジタル無線設備の安定した無線運用を確保するため手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 消防力の充実強化が目的であり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 経年劣化による設備の故障等を防ぐために更新は有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 市民への災害情報等伝達手段として必要な事業であるため、速やかに事業を実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 災害時における安定した無線運用を確保するため、更新整備を実施する。

作成年月 平成30年6月